

【授業科目】研究演習Ⅰ（文献講読）

Research Practice Ⅰ

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
教員全員（助教以上）		3年次通年	必修	1	30	演習	あり	巻末掲載	否
授業概要（内容と進め方）及び課題に対するフィードバック方法	授業概要／社会学・社会福祉学、英語圏の文化、公衆衛生学、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、地域看護学、在宅看護学、精神看護学の領域に分かれ、指導教員と共に、グループで既存の研究論文の講読を行う。領域は可能な限り、学生の希望を考慮する。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する ＊実務経験を持つ教員が授業を進める。								
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、看護の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる」の達成に寄与している。								
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①文献を通して、人間、医療、看護、福祉等の学問分野に興味や関心を持つことができる。 ②看護研究の授業で学んだ研究についての知識をもとに、既存の研究論文を、1)研究の目的・意義、2)研究方法の妥当性、3)研究結果とその意味、4)考察の内容と研究目的との照合、5)倫理的配慮等について検討することができる。 ③文献の検討を通して、研究の成り立ちなどの基本について説明できる。								
時間外学習に必要な内容・時間	第1回事前学習：関心のあるテーマについて明らかにしておく。（60分） 第2回事後学習：関心のあるテーマに関する文献を検索し、収集する。（60分） 第3～9回事前学習：看護研究の講義内容および教科書を復習しておく。（各60分） 第10～15回事前・事後学習：プレゼンテーションの準備および振り返りを行う。（各60分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 文献検索演習 第3～9回 文献講読・クリティーク 教員が提示する既存の研究論文について、研究目的・意義、研究方法、結果、考察、倫理的配慮等の内容を確認し、ディスカッションする。 提示された研究論文は文献カードにまとめる。 第10～15回 プレゼンテーション 関心のある研究論文を選択し、その論文について検討した内容を発表し、ディスカッションする。								教員全員 （それぞれグループ毎に全ての回を担当）
評価方法 評価基準	ディスカッション内容および参加度 50%、プレゼンテーション 50%								
教科書	3年次前学期「看護研究」で使用したものを使用。				参考書等	適宜紹介する。			
学生への助言等	4年次での研究演習Ⅱ（卒業研究）につなげることを念頭に、主体的、積極的に学習を進めて下さい。								